



自宅の庭にある藤が、例年になく枝満面に花を咲き誇らせました。その花の色が鮮やかなのです。他のどここの藤よりも紫色が濃く、自慢するわけではありませんが、美しいのです。そんな中、論語の授業で、今年の中学一年生に「人間らしいことの一つは、美しいものを見て感動することである」と伝えると、何人かの生徒が「美しいものを見て感動なんかせん」と言うではありませんか。しかも女の子も、であります。幼い子ならばそうでありましょうが、これは感性を磨かなければ、と思いました。そこで、授業が終わった後に藤を見て感動してもらおうと、夜でもよく見えるようにライトアップして、椅子を並べて、テーブルには団子を用意しました。花を愛でながら皆で団子を食えば良い思い出になるのでは…と期待していたのですが、照明が電球色だったため、藤の色が茶色っぽくなり、その美しさを伝えることができませんでした。でも、多めに用意した団子は完食。やはり花より団子でした。

藤の花ことは、外国では WELCOME で「歓迎」とのこと。中一と中三が同じ空間で過ごす、その機会を与えてくれた藤に感謝であります。

ところで、今、三重県立美術館で伊藤若冲の絵画が展示されています。江戸中期の天才画家 伊藤若冲。彼の筆使いの技法は今も謎とされています。日常生活に見る、他愛のないものが題材であるのですが、その観察力から生まれる絵には命が吹き込まれ、今にも動き出すかのような躍動感があります。塾生諸君、是非観に行ってください。「美しいものを見て、美しいと思う、その心が美しい」のであります。



連絡事項

4月29日,5月3,4,5日は休塾。4,5日は完全閉塾

【漢字検定】 検定日 6月26日(土) しめきり 5月24日(月)

【算数・数学検定】 検定日 6月12日(土) しめきり 5月1日(土)

申込用紙に検定料を添えて、申し込んでください。締切厳守